

事業所名	放課後等デイサービスポアレ				利用児童数	38	回収数	25
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	3	0	1			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	0	0	3			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1	1	2			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	0	0	0			
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	2	0	0			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	1	0	1			
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	1	0	0			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1	0	1			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	2	0	1			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	2	0	1	子どもから「またこれ?」と言われることがある。	活動が固定化されないよう毎週同じ様にならないように活動を組み、予定表を提示する。	
保護者 への 説明等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	19	2	0	4			
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	5	0	0			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	1	0	0			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2	3	9	ペアトレ、家族交流会など実施してほしい。	ご家族の希望を聴取したり有用な情報共有など今後場を作っていく。	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	24	1	0	0			
	16 定期的、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	3	0	1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	0	0	0			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	24	1	0	0			
	19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	4	4	9			
	20 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	0	0	0			
非常時 等の 対応	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	0	0	2			
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	0	1			
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	2	0	6			
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	2	0	6			
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1	0	5	夏休み中など遠出の際の緊急連絡先がほしい。	外出用の携帯電話を所持し、改めて電話番号の連絡もLINEや連絡ツールを通して周知していく。	
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	0	0	3			
満足 度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	24	4	0	0			
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	4	0	2			
	29 事業所の支援に満足していますか。	22	2	0	1			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ラポアレ			
○保護者評価実施期間	令和6年12月16日 ～ 令和7年2月13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年2月1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 16日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職が在籍しており、療育の考えが凝り固まらないよう定期的な話し合いや情報共有を実施している。	定期的に職員同士での意見交換や情報共有を行っており、外部講師を招いての研修会も行っている。	児童発達支援事業所や保育園等も同法人内にあるため、他事業での情報交換等実施していきたい。
2	集団の中で遊びを通して、コミュニケーションや社会性などのソーシャルスキルを育むため、丁寧な環境設定を行っている。	活動毎に部屋を決めており、場所と行動の区別がしやすい環境にしている。 また、主体性を育むために話し合いや子ども自身に活動を考えてもらうなど自然とコミュニケーションが生まれるよう心掛けている。	スタッフが間に入り、あえて逆の立場を取るなど議論が生まれたり自己解決が必要な状況を作っていく事も行っていきたい。
3	祝日や長期休暇には課外活動を通してさまざまな経験を積むことができ、社会の中で実践的に学べる環境が整っている。	屋内と屋外の活動に偏りが無いようスケジュールを調整し、課外活動の目的を明確にすることで、単なる「おでかけ」とは異なる視点を提供しています。 また、事業所で習得したスキルを社会生活でも活かせるよう、日々の支援と連携させ、事業所外での成功体験や挑戦を促す工夫を凝らしています。	体験型の学習や、多様な人々との交流を促進する工夫を重視します。また、公共の場での実践を通じて課題を洗い出し、自信に繋がる体験活動を充実させることで、習い事や友人との交流など、社会環境における活動機会の拡大を目指します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様や関係機関各所を含めた連携や相談援助などが弱いと思われる。	送迎や施設見学、会議参加の際は積極的に情報交換等行っているもののあくまで個人間でのやりとりになっている点がある。 現状、個別での回答となっており情報をより多くの方へ共有することが出来ていない。	ペアレントトレーニングや保護者会、外部関係者を含めた勉強会等開き情報共有と意見交換が活発になる様な環境を整えていきたい。

事業所名		放課後等デイサービスポアレ			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	十分なスペースを確保できており、活動に応じての部屋が分かれており、構造化された空間を提供できている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0		構造上入り口に関しては、車椅子での昇降がむずかしい部分がある。スロープ等を検討していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	活動中にクールダウンが必要な時には、クールダウンスペースの確保ができています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		アンケートボックス等を設置し、匿名ですぐに業務改善に繋げられるような環境を検討していく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	外部講師の方に来ていただき、質の向上と凝り固まった考え方にならないよう、研修実施ができています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	専門職、保育士など様々な角度からの意見を踏まえながらの支援会議が実施できている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	スタッフ全員で案を出し合い、理学療法士や保育士といった職種ごとの視点を持って作成している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	毎月活動内容を更新し、週ごとにも利用日で活動が固定化されないようにローテーションや児童に応じた活動を実施している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		翌日に振り返りを行なっているので、その日のうちに実施できていない。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	基本的に担当のスタッフが向かう事でより詳細な情報提供と児童の状況を説明出来るように努めている。	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	就学前移行支援シートなど活用しつつ情報の共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	同法人内で経営している保育園との交流等を行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	地域ネットワーク会議参加など行っており、地域全体の教育・福祉の向上に努めている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		保護者様からも希望があがっており、今後ラポアレでの勉強会や父母の会を開く事を検討。
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	5		現在、保護者同士の交流を促すような活動が出来ていないので今後積極的に実施していきたい。
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	LINEやアプリを通じた連絡やインスタグラムなどを通して保護者や関係者への情報開示を行っている。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	夏祭りでは、地域の方々の受け入れも行き、事業所を知っていただく機会を作り交流の場としている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	年に1回調査を行い、アレルギー等の対策を行なっている。おやつ提供時にも、除去食がある児童に対しての注意を行いながら対応を行なっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	Googleフォームなどのツールを用いることで報告、連絡、相談がスムーズに出来るようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止委員会を設置し定期的に法人内での情報共有やミーティングを行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			